

Textile Exchange 規格認証業務開始について

一般財団法人ケケン試験認証センター

1. はじめに

一般財団法人ケケン試験認証センター（理事長 本所寛 以下、ケケン）の製品認証事業部（部長 丸茂征也）は、以下の Textile Exchange（以後 TE という）規格の認証業務を開始することをご報告致します。

対象とする認証規格は、TE がスキームオーナーである以下の規格とします。

- **GRS(Global Recycled Standard)^{注1)}**
リサイクルコンテンツ基準^{注2)}に加え、社会的要件、環境要件、化学的要件を含めた製造プロセスにおける認証基準。
- **RCS(Recycled Claim Standard)^{注1)}**
リサイクルコンテンツ基準。
- **OCS(Organic Content Standard)^{注3)}**
オーガニックコンテンツ基準。
- **RWS(Responsible Wool Standard)^{注3)}**
畜産におけるアニマルウェルフェア、土壌管理、社会的基準をクリアした羊毛のコンテンツ基準。
- **RDS(Responsible Down Standard)^{注3)}**
アニマルウェルフェア基準をクリアした羽毛のコンテンツ基準。
(注1) 現時点でリサイクラー範囲は除くが相談可。
(注2) コンテンツ基準とは、製品に含まれる認証された材料の内容と割合を確実にするための認証基準。
(注3) サプライチェーン範囲に限る。

2. 認証事業開始の背景

最近、新聞紙やメディア上などでは、SDGs（持続可能な開発目標）やエコ、エシカル、環境、動物福祉等の言葉を多く耳にするようになり、この流れは繊維業界にも訪れ、繊維製品も価格重視ではなく、環境問題・労働問題などに配慮した製品を生産／購入する動きが見られるようになってきました。

近年、このような流れから世界中で様々な取り組みがなされ基準が設定されてきました。その中でも、TE 規格（基準）は第三者認証が必要であり、認証業務を行う機関には認定機関によるISO17065 の適合認定が要求されています。そのため、TE 規格は、世界中でも認知度が高く、透明性や公平性が高い認証制度であると言えます。

現在、日本製素材を海外で展開するためには、エシカルな国際認証を取得したものであることが条件であり、認証が無ければ、展示会への参加すらできない状況であるといわれています。しかしながら、現在国内にこういった国際認証を取得するための認証機関が少ない為、国内の企業がなかなか取得することができずハードルが高くなっている状況で

す。

そこで、ケケンが認証機関となり国内にTE 認証取得企業を増やすことでエシカルやサステナブルに貢献し、また、認証を取得した企業が国際競争力を持つようになることが私たちの目的です。

3. TE 規格認証の内容

TE は、オーガニックや動物福祉などの認証基準を持っているNPO団体です。

ケケンが行う新認証はいずれもプロセスの認証です。認証については、以下の2つのパターンがあります。

①コンテンツクレーム認証：生産履歴管理、即ちCoC（Chain of Custody：加工・流通過程の連鎖的な管理）をチェックし製品に認証された原料が確実に含まれていることを認証する。（RCS,OCS RWS,RDS）

②プロダクトクレーム認証：①に加え、全てのサプライチェーンの労働環境、環境マネジメント、使用薬品を審査し、認証された工程で加工された製品であることを認証する。（GRS）

なお、①②それぞれの認証には、TC(Transaction Certificate)といわれる取引証明書の発行業務が含まれます。

4. TE 規格認証の開始予告について

ケケンは、2021年4月より認証業務受付を開始致します。なお、4月中旬に認証申請に関する説明会を開催する予定です。

5. 最後に

これからもケケンは、国際認証機関として、エシカル、サステナビリティ素材を広く世界に流通促進させることを目的に、地球規模の資源問題、環境問題、労働問題の解決のために貢献し、皆様に信頼していただける認証機関となる様努めてまいります。

一般財団法人ケケン試験認証センター製品認証事業部
部長 丸茂征也

6. 本件に関するお問い合わせは下記までお願い致します。

〒113-0034 東京都文京区湯島3丁目31番1号中川ビル402号

E-mail : contact-ninsho@jwif.org

一般財団法人ケケン試験認証センター製品認証事業部
認証課 板倉
審査評価課 松本、山田